

バイオマス取組事例概要

《農林水産省農村振興局長賞》

- ・応募主体 島根県平田市
- ・都道府県・市町村 島根県平田市
- ・取組分野 バイオディーゼル燃料

取組概要

公民会館等を拠点として廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製。精製したバイオディーゼル燃料は、2台の市営生活バスに使用。

平田市は、宍道湖周囲2市3町水質環境保全の検討ワーキンググループの検討課題として廃食油対策を提言し、宍道湖の上流部にある平田市が率先して、収集・処理の可能性及び再利用方法について調査研究を開始した。平成13年から本格的に回収・精製を始め、ごみ収集車の燃料として使用。平成16年度からはごみ収集が民営化したため、市営生活バス2台に使用している。



また、市民の身近な清掃活動によって排出される草刈りの処理についても、資源として再利用する堆肥化事業が本年度よりスタートし、製造された堆肥は公共施設や市民へ無料配布されている。



回収にあたっては、市内11地区の公民館及び8カ所の公益施設に回収拠点を設け、市民全8,100世帯の約75%にあたる6,000世帯からの希望に基づき、廃食油の保存容器を配布している。廃食油の処理に対する市民の関心の高さから、宍道湖という貴重な水環境・資源の保全の重要性が十分に認識されているといえる。

